

故羽田重房博士略歴

大正二年八月六日 鹿兒島県阿久根市鶴川内一八二八

に出生

同 四二年九月二二日

鹿兒島大学附属病院にて逝去
正五位勲四等に叙し旭日小授

昭和一七年九月

第七高等学校造士館文科卒業

章を授かる

同 二三年三月

東京帝国大学法学部政治学科卒業

同 二五年六月

鹿兒島大学鹿兒島青年師範学校教授に補さる

同 二五年一〇月

鹿兒島大学助手を兼任

同 二七年三月

鹿兒島大学文理学部講師に昇任

同 二八年四月

鹿兒島大学文理学部助教授に昇任

同 三七年三月

「英国民主制の起源——賢人会の研究——」により京都大学より法学博士の学位を授与さる

同 三八年一〇月

鹿兒島大学文理学部教授に昇任

同 四〇年四月

鹿兒島大学法文学部教授（憲法・行政法担当）に配置換え
鹿兒島大学評議員に併任

業 績 目 録

(一) 著 書

- (1) 英国民主制の起源—賢人会の研究— 昭和三八年
一月 立花書房
- (2) 大石義雄編 新訂「世界各国の憲法典」「フラン
ス憲法」担当 昭和三四年一月 有信堂

(二) 論 文

- (1) 日本国憲法の欽定性 鹿児島大学文理学部紀要
「文科報告」第一号 昭和二七年
- (2) 議会主権について 鹿児島大学文理学部紀要「文
科報告」第二号 昭和二八年
- (3) 衆議院の解散について 鹿児島大学文理学部紀要
「社会科学研究」第一卷第一号 昭和二八年
- (4) 両院制雑考 鹿児島大学文理学部紀要「社会科報
告」第一号 昭和二九年
- (5) 参議院の地位「公法研究」第一〇号 昭和二九年
- (6) 日本国憲法の根本問題 鹿児島大学文理学部紀要
「社会科報告」第二号 昭和三〇年
- (7) 賢人会 Witenagemot について 鹿児島大学文理
学部紀要「社会科報告」第三号 昭和三一年
- (8) 賢人会について(二) 鹿児島大学文理学部紀要
「社会科報告」第四号 昭和三二年
- (9) 賢人会について(三) 鹿児島大学文理学部紀要
「社会科報告」第五号 昭和三三年
- (10) 賢人会について(四) 鹿児島大学文理学部紀要
「社会科報告」第六号 昭和三四年
- (11) 古代ゲルマンの王制について 芸林会「芸林」第
一〇巻第一号
- (12) 英国王制の成立 神道史学会「神道史研究」第七
巻第四号
- (13) 日本における革命運動 「経済往来」第一二巻第一
〇号